

施策No.	政策名	みんなで築く自治のまちづくり	主管課	生活環境課	主管課長名	仁平 博章
6-1	施策名	市民協働のまちづくり	関係課	秘書広報課、総務課、生涯学習課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
	市民	①桜川市人口	見込値	人		41,278	41,008	40,738	40,467	40,197
実績値						41,278	40,483			
見込値										
					実績値					
見込値										
					実績値					
施策の意図		成果指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
市民と行政が情報を共有し、協働によるまちづくりを実践している。		①行政の情報が十分に提供されていると感じている市民の割合	%		目標値	9.0	10.5	12.0	13.5	15.0
					実績値	8.3	6.6			
		②行政が行うまちづくり活動に継続的に参加している市民の割合	%		目標値	10.0	12.0	14.5	17.0	20.0
					実績値	8.9	7.3			
		③地域の活動に参加している市民の割合	%		目標値	35.5	39.0	42.5	46.0	50.0
	実績値				59.0	60.6				
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
	成果指標設定の考え方	”市民と行政が情報を共有し”については、①「行政の情報が十分に提供されていると感じている市民の割合」で把握する。 ”協働によるまちづくりを実践している”については、②「行政が行うまちづくり活動に継続的に参加している市民の割合」、③「地域の活動に参加している市民の割合」で把握する。								
	成果指標の把握方法と算定式等	○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○①行政の情報が十分に提供されていると感じている市民の割合、②行政が行うまちづくり活動に継続的に参加している市民の割合、③地域の活動に参加している市民の割合は、市民アンケートより求める。								

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)			
実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> 「行政の情報が十分に提供されていると感じている市民の割合」は、29年度の8.3%に比べ1.7ポイント下回り6.6%であった。 「行政が行うまちづくり活動に継続的に参加している市民の割合」は、29年度の8.9%に比べ1.6ポイント下回り7.3%であった。 「地域の活動に参加している市民の割合」については、29年度の59.0%から30年度の60.6%へと1.6%上昇した。 		
2) 成果目標の達成状況			
実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを下回った	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> 「行政の情報が十分に提供されていると感じている市民の割合」は、29年度目標値9.0%から30年度目標値10.5%と1.5ポイントの上昇を目標としたが、30年度目標値に対し、3.9ポイント下回り6.6%となった。 「行政が行うまちづくり活動に継続的に参加している市民の割合」についても、29年度目標値10.0%から30年度目標値12.0%と2.0ポイントの上昇を目標としたが、30年度目標値に対し、4.7ポイント下回り7.3%となった。 「地域の活動に参加している市民の割合」は、30年度60.6ポイントとなり、目標値に比べ21.6ポイント上回った。 		

3. 施策の成果実績に対する総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対する総括	今後の課題・方針
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は、「市政モニター設置事業」、「区長会運営事業」、「NPO・ボランティア育成事業」を中心に事業を実施した。 市政モニター設置事業においては、市長から委嘱された25名のモニターと市の執行部との対話集会を2回、市の主要事業を見学する施設見学会を1回、さらに意見・要望の随時募集も行った。寄せられた意見や要望を集め、市政運営への参考になる市民の直接の声を集約できたと同時に、意見・要望への回答や施設見学会を通して、市の主要事業への理解を深める取り組みを行った。 区長会運営事業においては、市と行政区との円滑なる調整を図り、多岐に渡りパイプ役として市民の声を反映させた。 NPO・ボランティア育成事業においては、桜川市ネットワーク協議会が中心となり、清掃活動やヤマザクラ勉強会などを積極的に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の会員の高齢化に伴い、活動内容が縮小されたり、辞める方が増えている。今後は若年層の加入促進のため周知を行う必要がある。また、県事務局の組織改編により、活動内容にも大幅な変更が行われているため、それに対応した事業実施を行う。